

直近の世論調査から－2017. 10. 6(安倍内閣再失速。民進は希望・立憲に分裂)

1. 内閣支持率「やや復調」後、再失速？『時代は応仁の乱』（何でもありの権力闘争）

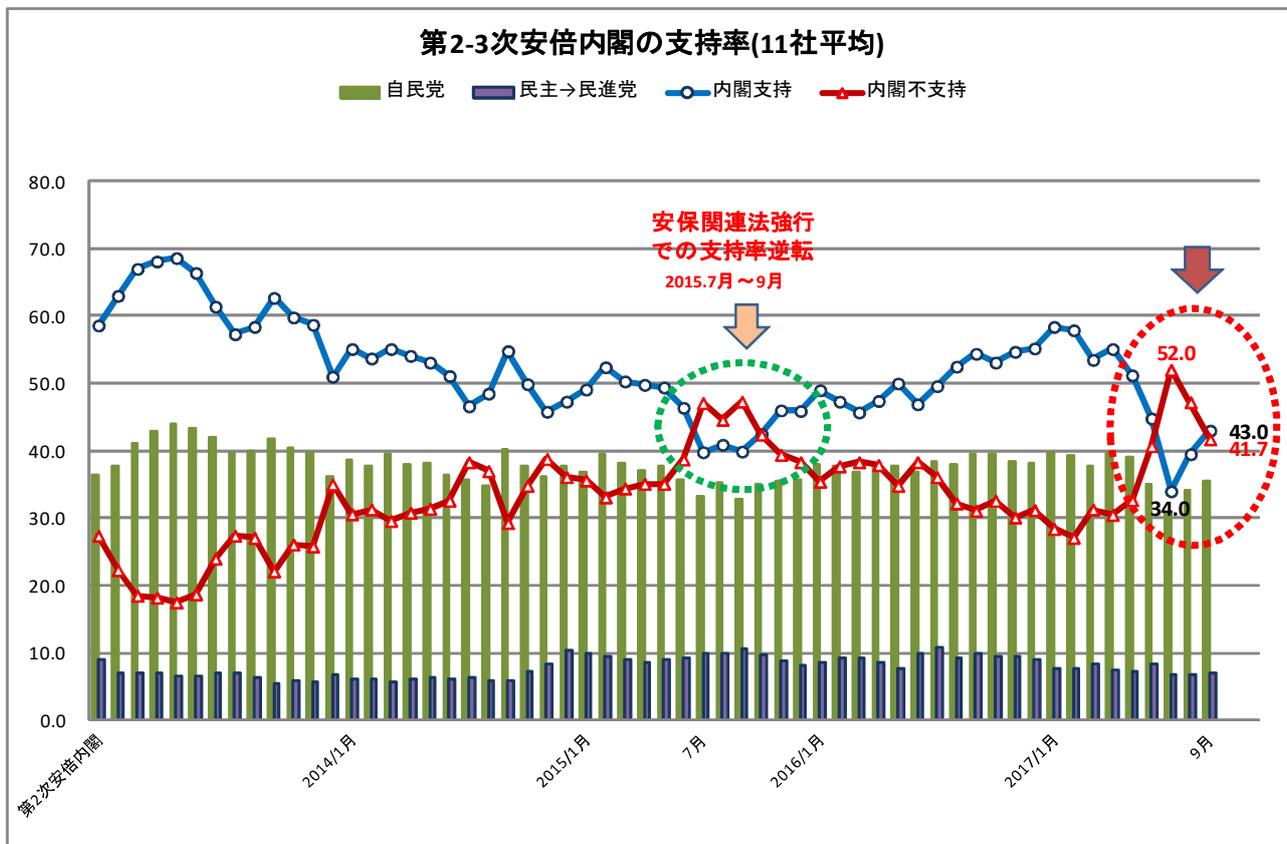
10月	支持	不支持
朝日10.4	40	38
NHK10.2	37	44
ANN10.2	36.9	46.3
平均	38.0	42.8

10月	自民	民進	希望	立憲	公明	共産	社民	維新	自由	こころ	支持なし
朝日10.4	30	2	5	3	5	2	0	1	0	0	30
NHK10.2	30.8	3.9	5.4		3.8	3.3		1.0			40.4
ANN10.2	39.6	7.1	9.7		4.6	5.8	1.9	2.8	0.6	0.0	28.0
平均	33.5	4.3	6.7	3.0	4.5	3.7	1.0	1.6	0.3	0.0	32.8

9月	支持	不支持
日経9.25	50	42
毎日9.28	36	42
読売9.30	43	46
朝日9.28	36	39
共同10.1tr2	40.6	46.2
時事9.15	41.8	36.7
NHK9.11	44	36
JNN9.4	48.1	50.5
ANN9.18	41.3	39.6
FNN9.18	50.3	40.0
NNN9.11	42.1	41.0
平均	43.0	41.7
共同9.4	44.5	46.1
毎日9.4	39	36
朝日9.12	38	38
読売9.12	50	39
共同9.25tr1	45.0	41.3

9月	自民	民進	希望	立憲	公明	共産	社民	維新	自由	こころ	支持なし
日経9.25	44	7			3	5	1	2	0	0	32
毎日9.28	28	5	13		4	4	0	2	0	0	39
読売9.30	32	4	9		4	3	0	1	0	0	40
朝日9.28	31	6	3		4	3	1	1	0	0	32
共同9.25tr1	38.1	9.9	8.1		5.1	3.8	0.5	2.4	0.4	0.1	30.4
時事9.15	23.7	4.3			4.9	1.3	0.1	1.0	0.0	0.0	62.9
NHK9.11	37.7	6.7			3.1	2.6	0.5	1.1	0.3	0.0	40.8
JNN9.4	32.4	6.4			2.8	4.2	0.8	1.1	0.2	0.1	49.4
ANN9.18	46.2	11.3			3.5	5.7	0.8	1.8	0.3	0.0	29.0
FNN9.18	38.0	6.4			3.6	4.5	0.7	2.6	0.7	0.3	41.4
NNN9.11	37.9	8.5			3.9	3.2	0.7	1.3	0.7	0.0	38.7
平均	35.4	6.9	8.3		3.8	3.7	0.6	1.6	0.2	0.0	39.6
共同9.4	34.7	7.5			4.0	3.0	0.7	2.5	0.3	0.1	45.9
毎日9.4	29	5			4	2	1	2	0	0	50
朝日9.12	35	5			2	3	0	1	0	0	46
読売9.12	40	5			3	3	0	1	0	0	45

①9.25小池知事が希望の党結成を発表 ②9.28民進党、希望の党への合流決定 ③10.3立憲民主党結成



① 8月の内閣改造で内閣支持率が復調に転換してきたのを機に、「一発大逆転」を狙った安倍首相の突然の衆議院解散宣言(9.25)だったが、同日の小池都知事による「希望の党」発表のサプライズ(民進党解党)で一気に政界は大混乱に陥った。そして 9.28 国会冒頭解

散(第48回衆議院選挙は10.10公示、22日投票)、10.3枝野氏らによる立憲民主党結成。マスコミと世論の話題は小池劇場と野党新党に集中。安倍首相の思惑を離れて、「時代は(日本の戦国時代に道をつけた)“応仁の乱(1467年)”だ。総選挙後にはさらに大激動・政界再々編成が来る」「希望にトロイの木馬」等ともいわれる情勢に入っている。前記の一覧表にもあるように、9月の安倍内閣の支持率は「順調に復調」するかのように見えたのだが、突然の解散宣言と希望の党結成で世論は再び反安倍の風が吹き始め、9月末での内閣支持率は「支持43.0%・不支持41.7%」と拮抗する状態になった。10月に入ってから安倍批判は止まらないようで10.4時点(3社平均)で「支持38.0%・不支持42.8%」となっている。

2. 解散批判は62%…「野党議席増に期待」なのに政権継続>政権交代、投票率下がる?

②「解散権は首相の専権事項」とは言われるものの、世論調査でも、突然の解散については「賛成23.6%・反対62.4%」(6社)と反対派が圧倒している。消費税の「使い道見直し」については賛成が多数だが、森友・加計学園疑惑への批判は鎮静化していない。選挙では原発問題を「重視する54%・重視しない34%」、大学など高等教育無償化には「賛成44%・反対46%」と拮抗。安倍首相の提案した憲法9条改正方式(条文は残して。自衛隊を明記)には調査した各社の設問の聞き方・ニュアンスの違いなのか、読売・FNN・日経が賛成多数、朝日・共同では反対多数と、賛否が入れ違っている(ANNは三択)。

③衆議院選挙の期待する結果についても、毎日・NHKは「野党議席増」への期待が「与党議席増」を上回っているのに、「政権継続か交代か」を問う設問には「政権継続」43.5

安倍首相の突然の解散に

	賛成	反対
共同9.24trend	23.7	64.3
日経9.25	28	56
朝日9.28	21	57
読売9.30	22	65
NHK10.2	27	67
ANN10.2	20	65
平均	23.6	62.4

首相の消費税の使い道変更提案

	賛成	反対
日経9.25	59	31

安倍首相が消費税見直しを提起したこと

	評価する	評価しない
NHK10.2	50	44
朝日10.4	42	40
平均	46.0	42.0

森友・加計学園疑惑隠し解散との批判

	妥当だ	妥当で内
朝日9.28	62	24

選挙で森友・加計学園問題を重視するか

	重視する	重視しない
朝日10.4	41	49

選挙で原子力発電問題を重視するか

	重視する	重視しない
朝日10.4	54	34

大学など高等教育の無償化に

	賛成	反対
日経9.25	44	46

安倍首相の提案する9条改正方式

	肯定的	否定的
朝日9.28	39	45
共同10.1trend	34.0	53.4
平均	36.5	49.2

安倍首相の9条改正提案(考え方)に

	賛成	反対
読売9.12	51	37

9条条文改正せず自衛隊を明記することに

	賛成	反対
FNN9.18	59.2	32.0
日経9.25	42	42
平均	50.6	37.0

9条の改正について

ANN9.18	①変える必要ない 23
	②2項を削除、国防軍明記 19
	③条文そのまま自衛隊明記 45

衆院選挙で議席増を期待するのは

	与党が増加	野党が増加
毎日9.28	34	49
NHK10.2 *	20	33

衆院選挙の期待する結果

	政権継続	政権交代を
ANN10.2	44	38
朝日10.4	43	33
平均	43.5	35.5

衆院選挙の結果への期待は

共同9.24trend	①与党>野党 32.4
	②与野党伯仲 49.3
	③与野党逆転 8.4

衆院選挙への関心度

朝日9.28	①大いに 22
	②ある程度 43 ③あまりない 25
	④全くない 10
読売9.30	①大いに 39
	②ある程度 36 ③あまりない 19
	④全くない 6
共同10.1trend	①大いに+ある程度 79.5
	※前回tr1比で+9.0%

NHK10.2	①大いに 32
	②ある程度 43 ③あまりない 16
	④全くない 6

朝日10.4	①大いに 29
	②ある程度 41 ③あまりない 22
	④全くない 8

投票に行くか

読売9.30	①必ず行く 56
	②たぶん行く 31 ③たぶん行かない 8
	④行かない(棄権) 4
NHK10.2	①必ず行く 53
	②たぶん行く 30 ③行かない 4
	④分からない 11
ANN10.2	①必ず行く 68
	②なるべく行く 21 ③行かない 5
	④たぶん行かない 5

、「政権交代」35.5%と、政権・政局の不安定化を望まない有権者の本音らしきものが伺える。それは共同通信トレンド調査(第1回目)の「与党が野党を上回る」ことを期待が

32.4%、逆に「与野党逆転」は 8.4%、そして「与野党伯仲」が最大の 49.3%という調査結果からも分かる。

④毎回実施される「選挙への関心度」「投票へ行くか」では、5社の調査が出ているが、これら各社の2014年衆院選時との比較では、「どうも投票率は下がりそうだ」という事になってきている。民進党解党・希望の党結成で「野党大結集・安倍政権打倒」という雰囲気、その後の小池氏による「民進リベラル派排除、選挙後の自民との連立の可能性示唆」などで、しらけてきたきらいが反映しているのかも知れない。

3. 民進は「希望、立憲に分裂」で政界大混乱。前原氏に地元京都で「帰れコール」

⑤「安倍政権打倒のために名を捨てて実を取る」と衆議院民進党の解党、希望の党への合流を提起した前原代表に対して、「歴史的な大英断だ」「日本版のオリーブの木」などと、当

希望の党(小池代表)に期待するか

	期待する	期待しない
朝日9.28	45	39
NHK10.2	47	47
ANN10.2	37	50
朝日10.4	35	50
平均	41.0	46.5

民進党-希望の党で立候補(合流)

	評価する	評価しない
読売9.30	24	63
共同10.1trend	28.1	62.3
NHK10.2	24	68
平均	25.4	64.4

希望の党-民進党の受入は

	全て受入れ	理念政策で選択
読売9.30	9	63

希望の党-政策で公認認定の判断

	妥当だ	妥当でない
朝日10.4	9	63

希望の党-小池氏の代表・知事兼任

読売9.30	①都知事に専念すべき	62
	②知事と党代表の兼務容認	21
	③衆院選挙に立候補を	12

希望の党-新党への期待は高まったか

	高まった	高まってない
毎日9.28	34	55

小池都知事への支持(含都政運営)

	評価する	評価しない
JNN9.4	62	21

首相にふさわしいのはどちらか

	安倍	小池
共同10.1trend	45.9	33.0

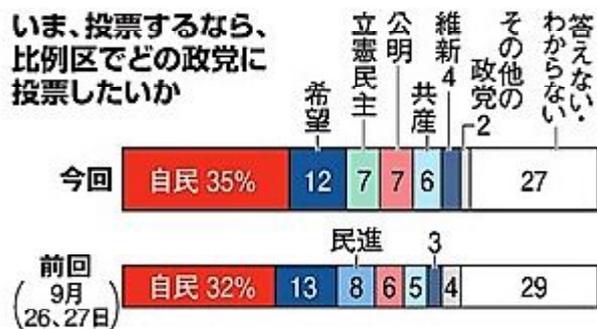
小池氏が知事を辞めて出馬することに

	肯定	否定
ANN10.2	18	72
朝日10.4	9	79
平均	13.5	75.5

比例代表の投票先は ※日経は「衆院選挙での投票先は」

	自民	民進	希望	立憲	公明	共産	社民	維新	自由	こころ	未定
共同9.24trend	27.0	8.0	6.2		4.6	3.5	0.3	2.2	0.1	0.0	42.2
日経9.25	44	8	8		3	5	1	3	1	0	20
毎日9.28	29	8	18		5	5	0	3	1	0	
朝日9.28	32	8	13		6	5	2	3	1	0	39
読売9.30	34		19		6	5		2			25
共同10.1trend	24.1		14.8		4.9	4.9	0.1	2.4	0.3	0.4	42.8
ANN10.2	29		14		6	6	1	2	1		39
朝日10.4	35		12	7	7	6	1	4	1	0	27
平均	31.8	8.0	13.1	7.0	5.3	5.1	0.8	2.7	0.8	0.1	33.6

いま、投票するなら、比例区でどの政党に投票したいか



いま、投票するなら、比例区でどの政党に投票したいか

(朝日のみ)だが、「比例代表の投票はどの政党に」という調査では、9.24 共同通信トレンド調査以降のものを時系列的に並べてみたものが3頁の上の表だ。希望は13.1%、民進は8% (4社)、立憲民主党は7% (朝日10.4のみ)となっている。さらに朝日の過去2回の調査比較(上図)を見てみると、直前に出来たばかりの立憲民主党7%は、前回の民進党8%の支持

初は前向きの評価もあったのだが、民進党リベラル派の選別排除等が明確になるにつれて正反対の評価が広がった。枝野氏らが立憲民主党を起ち上げ、分裂が明確になった段階で、前原氏は「全て想定内だ」との発言には民進党支持層からも猛反発が出た。10.4 地元京都に帰った前原氏の街頭演説にはヤジ罵声が飛び、「帰れコール」も出たという。

⑥政党支持率では、1頁に載せた一覧(10月に入ってからの朝日・NHK・ANNの3社)では、民進党4.3%、希望6.7%、立憲民主3.0%

層をほぼ引き継いでいる。しかし希望の党は 13%から 12%に下がった。民進党の相当数が合流したはずの希望の党への支持が広がらず、むしろ伸び悩んでいる。「期待も薄れ、失速の気配がうかがえる」と報道されている。朝日の調査では、無党派層の内訳(比例代表先)では、自民へ 17%、希望へ 13%、共産 7%、立憲 7%。内閣不支持層では希望へ 22%、立憲へは 15%、共産 12%と報道されていた。

4. 北海道は立憲民主党にシフト。「1区と4区の選別が事前に打診された」と報道

	自公	立憲民主	共産	希望	維新
道1区(札幌市中央区、南区、西区と北区の一部)	●	●	○	-	-
道2区(札幌市北区の一部、東区)	●	-	●	●	●
道3区(札幌市白石、豊平、清田区)	●	●	○	-	-
道4区(札幌市手稲区、西区の一部、後志管内)	●	●	○	●	-
道5区(札幌市厚別区、石狩管内)	●	●	-	-	-
道6区(上川管内)	●	●	○	-	-
道7区(釧路、根室管内)	●	-	●	-	-
道8区(渡島、樺山管内)	●	○	○	-	-
道9区(旭川、日高管内)	●	-	●	●	-
道10区(空知、留萌管内)	○	●	○	-	-
道11区(十勝管内)	●	●	○	-	-
道12区(オホーツク、宗谷管内)	●	-	●	●	-

※自公の●は自民、○は公明。立憲民主の○は無所属。共産の●は候補擁立を承認、○は立憲民主との統一候補を検討

⑦北海道民進党が準備していた 11名の候補者は立憲 7名・無所属 1名(立憲に所属)・希望 3名と分かれたが、連合北海道は「比例は立憲民主党」とした。10.5読売は「リベラル切り打診と反発」の見出しで、事前に1区と4区候補を選別排除する意図が前原氏側から明らかにされたと報道したが、これが前原・小池合意に対する重大な疑惑を生み、「立憲民主党で行く」決意を固めさせたようだ。

⑧10.2道新が報道した政党支持率と比例代表先(次の表-立憲は未調査)をもとに当調査会

	自民党	民主・民進	大地	維新	共産	無党派		10.2道新報道	
05/9衆院選	31.0	19.6			2.9	32.9		政党支持	比例先
07地方選	25.5	17.5	1.9		2.8	43.1	自民	24.4%	25.0%
07参院選	20.4	30.2	2.8		3.2	31.8	民進・希望	17.0%	29.0%
09/8衆院選	28.5	25.8	1.3		3.3	29.7	公明	3.4%	6.0%
10参院選	22.2	36.8	0.0		4.1	26.9	共産	4.1%	8.0%
11地方選	24.3	23.4	0.9		3.1	39.0	社民	0.6%	1.0%
12/11衆院選	21.1	20.5	2.2		2.7	40.4	大地	0.9%	5.0%
13参院選	31.1	16.7	5.7	1.4	4.1	26.7			
14衆院選	29.9	17.2	2.3	2.5	3.8	36.4	維新	0.2%	1.0%
15地方選	33.7	13.9	2.3	2.0	3.1	36.9	その他		4.0%
16参院選	34.0	19.2	0.2	1.8	5.1	31.9	支持なし	48.3%	
17年10月2日	24.4	*17.0	0.9	0.2	4.1	48.3	無回答	1.1%	21.0%

シミュレーション(SM担当)で、とりあえずの荒っぽい推計を立ててみた。

◎シミュレーションの前提

- ①民進の支持率は、正常値14.3%。希望2.7%を足したものを民進(立憲を含む)と見なせる。岩盤支持層は浮気しない希望の得票は、未確定要素はあるが、現時点での希望単独支持でも2.7%。道内には小池風の波及が少ない
- ②自民の支持率は24.4%とかつてなく低い。野党時代のものに近い。
- ③大地は無党派からの支持が7%しか得られていない。2013参院選は19%、2012年衆院選も19.1%。無党派は48.3%と、かつてなく大きい→自民に17、希望(民進・立憲)に28、大地に7など。NAが32%
- ④現段階での投票率予測では、前回より下がる。とりあえず52%で想定。

◎投票総数 238万6000。投票率52%。…調査時点での得票配分総数は約 184万(総数の約77%が推計可能)とした(残票55万)。

○確定分…自民 60.5万、民進(立憲含む) 76.8万、※うち希望は12万程度か。

公明 13.9万、共産 18.7万、社民 1.8万、新党大地 3.4万、維新 3万、その他 5万。

◎比例配分(道内8名)…最後の1人分比例票は21.5万~22.3万程度。

今後の各社調査などを使ってさらにシミュレーションをバージョンアップしていく。

☆これまでの「直近の世論調査から」シリーズ、各種選挙結果とデータなどをホームページに掲載しています。自由にご利用ください。

<http://yoronmeeting2013.web.fc2.com/>

(北海道世論調査会まとめ)